

第11回かながわ教育学講座

令和4年1月16日、第11回かながわ教育学講座が開催されました。今回は、「教員という仕事の魅力と責任」をテーマに、カレッジを修了して、今年度から学校現場で活躍されている各校種の先生方によるシンポジウムを行いました。



シンポジウム「教員という仕事の魅力と責任」

シンポジウムでは、それぞれの教員生活1年目を振り返りながら、教員のやりがいを感じた瞬間や責任の重さを感じた出来事、受講者に向けてのアドバイスなどを話していただきました。受講者は話を聞きながら、改めて教員の魅力と責任を実感した様子でした。



—カレッジの先輩方の言葉から—

- ・子どもの成長を感じられる瞬間が何よりのやりがいとなる
- ・教員の何気ない一言や日常の行動が子どもたちに大きな影響を与える
- ・気になったこと、困ったことは周りの先生にすぐ連絡・相談



講義「教員のコンプライアンス～教員へのはじめの一步～」

神奈川県教育委員会 松西行政課長による、「教員のコンプライアンス(法令順守)」について講義がありました。不祥事は、ちょっとした油断や、心の隙から発生すること、教員としての職責を十分に理解していくことについて学ぶことができました。

グループ活動

グループ活動では、受講者はシンポジウムや講義、そしてこれまでの学びを基に、自分自身の「めざす教員像」やそれを実現するためにこれからすべきことについて、思考ツール「マンダラート」を用いて整理しました。作成した「マンダラート」を見せ合いながら、グループの仲間とそれぞれの考えを共有し、より具体的な理想の教員像に迫りました。



受講者の感想

○シンポジウムで先生方が教員の魅力についてお話をしてくださり、今まで自分の中で想像していた以上にとても魅力的な仕事だと思いました。ちょっとした成長にも関わることが自分だったらすごく嬉しいだろうと考えることができました。責任をもてる教員になりたいと思いました。

○色々な校種の先生方のお話を聴くことができ良い経験になりました。今の私の目標が「視野を広げる」ことなので、とても貴重なお話を聴けて良かったです。色々な先生方が仰っていたように「まわりの先生方に相談する」ことを私も徹底したいと思いました。